



文責 本宮小校長 佐久間仁

避難訓練



十一月八日に今年度二回目の避難訓練を行いました。今回は、事前の予告なしで、昼休みに非常ベルが鳴り、それぞれ活動している場所から安全に避難することを目的として行いました。一回目よりは多少時間がかかりましたが、全員が無事校庭に避難することができました。先に校庭に避難した子どもたちは、後から逃げてきた友達に整列の場所を教える姿も見られ、互いに協力し合うことができました。後半は、市の防災対策課地域防災マネージャーの小齋さんから安全な避難の仕方など、命を守るための行動について分かりやすく教えていただきました。今後の安全・安心な生活に生かしていきたいと思います。小齋さん、ご指導ありがとうございました。

意見交換会



市内小・中学校のPTA会長、学校運営協議会長、教育委員が一同に会して意見交換会が行われました。会では、今年度の全国学力・学習状況調査結果についての報告があり、それをもとに中学校区ごとに、学校や家庭、地域ができることを話し合いました。

【全国学力・学習状況調査結果】

○国語は、市の平均正答率が全国平均を三・七P、県平均を二P下回った。算数は、市の平均正答率が全国平均を七・四P、県平均を四P下回った。
○国語については、「話す・聞く」ことが課題である。算数については、ほぼすべて課題ではあるが、その中でも「数と計算」「図形」が特に課題である。「授業の中でどれだけ習熟の時間を確保できているのか」「Aードリル等の活用が継続してできているのか」等、各学校

の分析と対策を徹底することが必要である。また、教師中心の授業から学習者中心の授業に転換し、自分の思いや考えを友達に伝えたり、説明したりする等、子ども視点で「主体的・対話的で深い学び」がしやすくなる授業デザインを行うための、教師のファシリテーション能力向上への授業改善が必要である。

○小学生においては、国語、算数ともに、テレビゲームの時間が短くなるほど、平均正答率は上がっている。ゲームの時間が四時間以上と、全くしない児童では、国語・算数ともに平均正答率がおよそ二十%の差が見られる。

【協議】

○学校運営協議会の教育支援の一つとして、情報モラル教育への協力を行った。スマホが友達関係や学習に与える影響は大きい。ゲームの時間と学力の関係を可視化して啓発を図るとよいのではないかと学習発表会で、六年生がメディアの影響を劇にして発表した。意識の高まりが感じられた。メディアをより良く使おうという考え方が大切ではないか。

○中学生になるとメディアの時間が短くなるのは、目標（部活、受験）をもつことで、行動が変わるからではないか。自分で自分を律

する力も関係していると思う。
○メディアをコントロールする力を身に付けさせたい。そのために、家庭の協力が大事。親が我慢する姿を見せることも必要だと思つ。

【無線LAN環境調査】

今後、学習用タブレットを、学級閉鎖などの有事の場合だけでなく、家庭学習でも活用できるように環境整備を進めたいと思います。現時点でのご家庭のLAN環境を確認しますので、期限（十一月二十二日）までに回答をお願いします。学校から配付されたお便りをお読みいただき、QRコードでご回答ください。なお、本宮市から接続機器を借用する場合は、「借用申請書」を提出していただきますので、よろしく願います。

【インフルエンザに注意】

インフルエンザが流行しています。体調が悪いときは無理に登校せず、ご家庭で休養させてください。発熱や咳、のどの痛みなどの症状が見られる場合は、医療機関を受診してください。万が一、インフルエンザに罹患した場合、発症した後五日を経過するまでは出席停止となります。加えて解熱した日によっては期間が延長されます。（基本的には医師の指示に従ってください。）外出時の手洗い・うがいなど、ご家庭での感染予防の徹底をお願いします。